

「中之条町総合計画 第7次構想」（素案）に関するパブリックコメント(意見募集)結果

「中之条町総合計画 第7次構想」（以下「計画」という。）の策定にあたり、その素案を示すとともに、意見募集（パブリックコメント）を実施したところ、2名の方からご意見を頂きました。このたび、ご意見の要旨および町の考え方がまとまりましたのでお知らせします。

（１）募集期間　：　令和7年11月11日　～　令和7年11月25日

（２）提出方法　：　意見募集フォーム、メール、FAX、郵送、持参

（３）提出人数及び意見数

提出方法	提出人数	意見数
意見募集フォーム (インターネット)	1	1
持参	0	0
郵送	0	0
FAX	0	0
Eメール	1	2
合計	2	3

(4) 提出された意見の要約及び町の考え方

番号	該当箇所	意見内容	町の考え方	修正の有無
1	第1部 総論 第3章 町民ニーズの把握 3-1 町民意識調査 環境にやさしい町 12ページ他 第2部 基本構想と基本計画 第1章 基本構想 1-1 目指す将来像と基本理念 ②基本理念 つながりを育み 共に創る 16ページ	不要になった衣服や、家具、そのほかまだ使えるけれど捨てるにはもったいない。町内でもっと簡単にリユースできる手段があったら欲しい方やあげたい方が沢山いるのではないかな。 以前から同じ声を多く聞きました。 幼稚園や学校の制服や運動着、学用品も高額ですし、綺麗で使えるものが沢山あると思いますので、手軽に自宅まで取りに来られるような取り組みを、町で考えていただけたら、環境にも家計にもやさしく、つながりを育んで行けるのでしょうか。 アプリやサイトを利用するのもひとつですが、きっとお年寄りの方は難しいでしょうし、そもそも存在も知らないのではと思いますし、リサイクルショップ等に持っていくのも大変です。	ご意見のとおり、「地域内でまだ使えるものを次の方へつなぐ」ことは、環境負荷の軽減になるだけでなく、地域の中で人と人が自然につながり合うことができる大切な取り組みであると考えます。 「自宅まで取りに行く仕組み」や「高齢者の方でも利用しやすい仕組み」などの地域内でリユースを促進できる方法について、実現可能性や費用面、運用体制などを踏まえつつ、検討してまいります。 ご提案につきましては、貴重なご意見として、今後の施策の参考とさせていただきます。	無
2	第2部 基本構想と基本計画 第2章 基本計画 重点目標05 地域の力を活かし、新たな活力を生み出す 36ページ	「目指す姿 施策の方向性」について、「農業の振興」や「林業の振興」より優先して、「観光の振興」を記載すること。 理由については、以下のとおりです。 ①町民の観光に対する期待値が高いこと 12ページの町民意識調査では、農業の盛んな町、商工業が盛んな町と回答した人より観光の町と回答した人が圧倒的に多い。また、13ページの中学生へのアンケートでは、観光の町とした人が、農業・商工業とした人の2倍以上になっている。 このような事実から、町の主要な産業という観点での町民の期待値が非常に高いと言える。 ②すでに観光産業は中之条町の基幹産業となっていること 町全体の観光収入（お客さまが、宿泊施設や飲食店・商店などで消費する金額）は50億円を上回ると思われ、そのほとんどが町外のお客さまなので大きな「外貨収入」を稼いでいる。 また、税収面でも、固定資産税、入湯税、法人税、町民税、地方消費税、ふるさと納税などで多大な貢献をしている。 ③観光業は人的資源が必要とされる産業なので、雇用創出・新たな住民の流入に貢献できること ④観光業は大きな成長が見込まれる産業であり、将来にわたって町に貢献できること 世界レベルで見た時、旅行・観光産業は成長著しい産業であり、日本政府観光局も2024年に3600万人だった訪日外国人を2030年には2024年比1.7倍となる6000万人に増やす目標を立てている。	観光については、「重点目標05 地域の力を活かし、新たな活力を生み出す」だけでなく、「重点目標06 自然とともに、ふるさとの魅力をひらき、未来と結ぶ」においても、施策を記載しており、町の「目指すべき姿 施策の方向性」として、観光産業の活性化は、持続可能なまちづくりには必要不可欠であり、「観光の振興」は、最重要の施策の一つであると認識しています。 なお、記載順につきましては、施策の記載内容や文書量などを踏まえて、見やすさなども考慮しており、優先順はございませんので、ご理解ください。 ご意見につきましては、関係各課と情報の共有をさせていただきます。	無

番号	該当箇所	意見内容	町の考え方	修正の有無
3	第1部 総論 第1章 計画策定にあたって 1－2 計画の構成 個別計画 3 ページ他	個別計画として中之条町全体の観光振興計画を2026年の早い時期に策定し、年度中に行動に移すこと。 番号2での理由のような背景にもかかわらず、町の観光の方向性が示されていない。 町の観光商工課、中之条町観光協会、中之条町商工会、四万温泉協会、沢渡温泉組合、六合の里温泉郷組合、中之条ガーデンズなど、多くの組織がある中で、観光の方向性が示されていないことで、各組織の方向性の不一致や意思統一のスピードが遅いなど多くの問題点を抱えている。	ご意見のとおり、中之条町においては、観光に関する個別計画「観光振興計画」は未策定です。 町の観光の方向性を示す計画となりますので、貴重な提案として、今後の施策の参考とさせていただきます。ご意見につきましては、関係各課と情報の共有をさせて頂き、検討いたします。	無